

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和7年度

施策コード	513	施策	安全で健康な生活環境の保全と自然共生の推進
管理事業	環境汚染対策事業	所管部局	環境部

1	所管 室課	環境保全指導課	事業名	環境汚染防止対策事業			
事業概要							
環境監視、公害防止対策、南吹田地下水汚染対策							
活動実績			年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
(1) 環境監視 ・環境評価実施地点数 令和7年度…155件、令和6年度…156件※、令和5年度…156件※ ※土壌及び河川底質のダイオキシン類の測定計2地点を計上して いなかったため追加。 (2) 公害防止対策 ・公害苦情受付件数 令和7年度…120件、令和6年度…124件、令和5年度…126件 ・公害苦情立入件数 令和7年度…247件、令和6年度…239件、令和5年度…436件 ・公害に関する苦情を解決した割合 令和7年度…76.7%、令和6年度…76.8%、令和5年度…74.7% (3) 南吹田地下水汚染対策 汚濁物回収量（令和7年度末までの累計） 1,2-ジクロロエチレン…25.7kg クロロエチレン…26.4kg			決算額 (千円)	81,977	77,902	91,884	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	97.8	97.7	98.1	☐ 有効性 ■ 効率性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			☐ 公平性 ■ 持続可能性	
			環境監視は、測定頻度及び地点の見直しを実施しており、今後も継続して、より効率的な手法を検討する必要がある。 公害防止対策は、苦情に対し迅速、丁寧かつ効率的に対応するため複数回の現場立入や、電話により問題解決を図っている。 南吹田地下水汚染対策は、南吹田のまちづくりへの影響低減及び地域住民の不安解消のため事業を継続する必要がある。 業務の履行のために専門知識を有する職種の職員配置が必要である。			今後の実施計画 の方向性・内容	
				継続			

2	所管 室課	環境保全指導課	事業名	環境監視庁舎管理事業			
事業概要							
環境監視庁舎管理							
活動実績			年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
(1) 消防用設備等点検業務 令和7年度…令和7年9月22日、令和8年2月9日実施 令和6年度…令和6年9月5日、令和7年2月20日実施 令和5年度…令和5年9月6日、令和6年2月5日実施			決算額 (千円)	453	683	496	※課題があるものは■ ■ 市民ニーズ、社会的役割 ■ 有効性 ■ 効率性 □ 公平性 ■ 持続可能性 今後の実施計画 の方向性・内容
			一般財源 の 比率(%)	100.0	100.0	100.0	
(2) 樹木剪定及び除草委託業務 令和7年度…令和8年1月6日及び7日実施 令和6年度…令和7年1月10日及び11日実施 令和5年度…令和5年12月25日実施			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			継続	
			旧環境監視庁舎では有害物質を使用していたことから、今後の活用方法によっては、土壌汚染対策法に基づく調査等が必要である。				
(3) 行政財産目的外使用の許可 博物館資料（民俗文化財、市内遺跡出土遺物等）、吹田市史保管のための倉庫としての使用（地域教育部 文化財保護課）。							

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和7年度

施策コード	513	施策	安全で健康な生活環境の保全と自然共生の推進
管理事業	地域環境衛生事業	所管部局	環境部

1	所管 室課	環境政策室	事業名	地域環境衛生事業			
事業概要							
空地管理、衛生害虫等駆除、市有墓地管理							
活動実績			年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
(1)空地管理事業 空地が良好に管理されず生活環境に著しい支障を及ぼしている場合に、空地の所有者等に対し適正に管理されるよう指導を行った。 申出件数 令和7年度 64件 令和6年度 66件 令和5年度 48件			決算額 (千円)	10,954	11,679	13,102	※課題があるものは■ □ 市民ニーズ、社会的役割 ■ 有効性 ■ 効率性 ■ 公平性 ■ 持続可能性
			一般財源 の 比率(%)	100.0	100.0	100.0	
(2)衛生害虫等駆除事業 市内の市有公共施設等で発生するハエ、蚊等の衛生害虫、ユスリカ等の不快害虫、毒毛虫やセアカゴケグモ等の危険害虫、ねずみ族等、公共下水道マンホール内に発生するゴキブリの駆除及び蜂の巣の除去を行った。 令和7年度 622カ所 (373,765㎡) 令和6年度 538カ所 (296,173㎡) 令和5年度 555カ所 (319,897㎡)			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			今後の実施計画 の方向性・内容	
			空地管理に関する相談の多くが相談問題であり、法に基づく措置が整備されておらず、行政の関与が困難であるため、有効な手法や基準等について法整備等が求められている。 市内全域で害虫等が発生するため、日頃から関係室課と情報共有に努める必要がある。 墓地の承継手続などが行われていない管理不全の区画について使用者の確認を積極的に行うなど、引き続き墓地を適正管理する必要がある。			継続	
(3)市有墓地管理 市有墓地の墓籍管理、光熱水費の負担、除草剪定、修繕整備などを行った。 墓地使用権の承継許可数 令和7年度 38件 令和6年度 38件 令和5年度 21件 墓地返還届出数 令和7年度 12件 令和6年度 11件 令和5年度 9件							

2	所管 室課	環境政策室	事業名	やすらぎ苑管理事業			
事業概要							
やすらぎ苑管理（指定管理者施設管理）							
活動実績			年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
やすらぎ苑の火葬執行業務、その他火葬執行に伴う関連業務及び医療に伴う排出物等・動物の死体の焼却等を実施した。 また、やすらぎ苑の火葬業務が円滑に行えるよう、施設の管理を行った。			決算額 (千円)	150,553	240,093	277,348	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	60.8	72.5	66.1	☐ 有効性 ■ 効率性 ☐ 公平性 ■ 持続可能性
火葬件数			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画 の方向性・内容
令和7年度 3,349件 令和6年度 3,794件 令和5年度 3,804件			火葬炉の老朽化により故障が多くな っており、年々修繕料が上がっているが、 今後も計画的な修繕を行い、特に火葬件 数が多い冬期には故障・修繕による炉の 停止が生じないようにする必要がある。 残骨灰の売却に当たっては、売却益の 増加につながるよう制度の見直し、検討 が必要である。				
修繕料							継続
令和7年度 168,200,340円 令和6年度 160,172,210円 令和5年度 72,683,490円							

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和7年度

施策コード	513	施策	安全で健康な生活環境の保全と自然共生の推進
管理事業	地域環境保全事業	所管部局	環境部

1	所管 室課	環境政策室	事業名	環境美化事業			
事業概要							
環境美化啓発、環境美化清掃委託							
活動実績			年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
令和5年度から路上喫煙防止啓発員4名を配置し、環境美化に関する条例に基づき路上喫煙防止、ポイ捨て禁止等について効果的に指導啓発を行った。更に、たばこのにおいや煙、受動喫煙禁止及びスモークフリーシティ実現に向けた禁煙啓発を目的として、令和5年度にJR吹田駅北口及びJR岸辺駅北口に、令和6年度に江坂公園及び豊津公園に卒煙支援ブースを設置した。 (1)啓発員による指導件数 令和7年度 4,752件 令和6年度 6,198件 令和5年度 6,839件 ※巡回数は例年2,000回程度 (2)環境美化啓発活動 まちの美化を推進するために、令和4年度から市民や事業者が市内を一斉に清掃する「わがまちクリーン大作戦」を実施した。 参加団体数と回収量 令和7年度 156団体、2,794kg 令和6年度 154団体、3,105kg 令和5年度 141団体、3,320kg (3)環境美化推進団体 令和7年度 53団体 令和6年度 47団体 令和5年度 49団体			決算額 (千円)	24,388	32,318	33,091	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	99.7	91.6	99.7	■ 有効性 ■ 効率性 ☐ 公平性 ■ 持続可能性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				
			たばこ施策に関し、市全域のスモークフリーと環境美化条例に基づく路上喫煙禁止地区の新たな指定に關しての整理が必要である。啓発員の指導件数が減少傾向にあり、啓発員による指導・啓発の効果が現れている。引き続き啓発員の確保も含め、適正な体制を確保する必要がある。まちの美化推進は行政だけではなく、地域の企業や自治会等と協働して行うことが望ましいため、環境美化推進員の更なる確保に努める必要がある。			今後の実施計画 の方向性・内容	
						継続	

2	所管 室課	環境政策室	事業名	危険動物捕獲事業			
事業概要							
危険動物捕獲							
活動実績			年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
発見されたアライグマ等危険動物の捕獲及び処分を行った。 また、市民や事業者へアライグマ捕獲について協力を得られるようホームページに目撃情報を掲載して周知や注意喚起を図った。 (1)捕獲器貸出し件数 令和7年度 122件 令和6年度 98件 令和5年度 121件 (2)アライグマ等措置頭数 令和7年度 72頭 令和6年度 67頭 令和5年度 56頭			決算額 (千円)	539	1,238	1,465	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割 ■ 有効性 ■ 効率性 ■ 公平性 ■ 持続可能性
			一般財源 の 比率(%)	100.0	100.0	100.0	
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				
			本市においてもアライグマの目撃情報が寄せられており、捕獲数も増加している。捕獲したアライグマの回収等を委託しているため、人件費上昇等による委託料の高騰が課題である。アライグマを捕獲するための捕獲器を設置する場所が限られているため、引き続き市民や事業者へアライグマ捕獲について協力を得られるようホームページに目撃情報を掲載して周知や注意喚起を図るとともに、捕獲器を所有している市民等に対して捕獲器登録を案内し、更なる捕獲に努めている。				今後の実施計画 の方向性・内容
							継続

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和7年度

施策コード	513	施策	安全で健康な生活環境の保全と自然共生の推進
管理事業	地域環境保全事業	所管部局	環境部

3	所管 室課	環境政策室	事業名	自然共生事業			
事業概要							
生物多様性保全施策推進、森林保全、地域循環共生圏構築							
活動実績			年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
(1)生物多様性保全施策推進事業 市民が生物多様性保全の重要性を理解し、生物多様性の保全に配慮したライフスタイルを実践することを目指し、啓発等を行った。 「むし虫探検隊」開催（令和7年11月） (2)森林保全事業 森林法に基づき都道府県が計画する地域森林計画の対象となる民有林について、市町村森林整備計画を策定するとともに森林病害虫等防除法に基づき、森林病害虫の防除等の保全事業を行った。 樹幹注入処理実施数 474孔（令和7年度） (3)地域循環共生圏構築事業 令和4年度に策定した木材利用推進ガイドラインに基づき、本市公共施設等への木材利用を推進した。また、自然豊かな地域で自然体験等を実施し、環境意識向上を図ることで、自然保護活動を担う人材の育成に繋がった。 里山デイキャンプ in NOSE 参加者数79名（吹田市からは37名）（令和7年11月） 木材利用実績（地域材使用量） 令和7年度：1.5㎡（北消防署北千里出張所） 令和6年度：9.9㎡（吹田市役所庁舎低層棟） 令和5年度：76㎡（吹田市総合防災センターなど）			決算額 （千円）	656	1,589	1,008	※課題があるものは■ □ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	78.2	60.5	100.0	■ 有効性 □ 効率性 □ 公平性 ■ 持続可能性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画 の方向性・内容
				自然共生社会の実現に向けて、市の全域が市街地化されている本市の特徴に応じた取組を進める必要がある。 公園を中心とした市内での取組と、地域循環共生圏の構築に向けた市外での取組の双方に取り組んでいる。			継続

	所管 室課		事業名			
事業概要						
活動実績		年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
		決算額 (千円)				※課題があるものは■ □ 市民ニーズ、社会的役割
		一般財源 の 比率(%)				□ 有効性 □ 効率性
		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			□ 公平性 □ 持続可能性	
					今後の実施計画 の方向性・内容	

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和7年度

施策コード	513	施策	安全で健康な生活環境の保全と自然共生の推進
管理事業	地域環境保全事業	所管部局	下水道部

1	所管 室課	管路保全室	事業名	河川環境事業			
事業概要							
河川環境整備							
活動実績			年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
(1) 糸田川河川清掃業務 令和5年度…2回、令和6年度…2回、令和7年度…2回 (2) 糸田川クリーン活動 令和5年度…1回、令和6年度…1回、令和7年度…1回			決算額 (千円)	715	792	946	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)	50.0	50.0	50.0	☐ 有効性 ☐ 効率性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			■ 公平性 ☐ 持続可能性	
			糸田川は、堤防が遊歩道であり、市民の憩いの場となっている。地域の環境美化意識は高く大阪府のアドブトリバー活動に参加しており、本市も地域及び河川管理者の府と糸田川クリーン活動に取り組んでいるが、大雨後は河道内にゴミが散乱しており、更なる環境美化が必要と判断し当事業を実施している。本来、河川清掃は府の所管であるが、現状を考慮し糸田川のみ当事業を実施していることが課題である。			今後の実施計画 の方向性・内容	
継続							

	所管 室課		事業名				
事業概要							
活動実績			年度	R 5	R 6	R 7	評価の視点
			決算額 (千円)				※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割
			一般財源 の 比率(%)				☐ 有効性 ☐ 効率性
			事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題			☐ 公平性 ☐ 持続可能性	
						今後の実施計画 の方向性・内容	

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名